

宮城学院女子大学 公開シンポジウム
『キリスト教主義女子教育の歴史と現在』

基調講演

キリスト教主義の女子教育史： なぜ女子ミッション・スクールは 名門女学校になったのか？

佐々木 啓子

国立大学法人 電気通信大学 名誉教授（女子高等教育史）

2025年3月22日(土)

13時30分ー16時10分（開場13時10分）

会場 宮城学院女子大学 礼拝堂

対象 学生・同窓生・一般

★参加費無料

本学学生は要事前申込。

中高生・同窓生・一般の方はできるだけ事前にお申込みください。

宮城学院女子大学ではジェンダー教育研究センター（仮称）を開設準備中です。プレイベントの一環として、シンポジウム「キリスト教主義女子教育の歴史と現在」を開催いたします。

基調講演には女性の高等教育の歴史に詳しい佐々木啓子氏を招き、キリスト教主義の女子教育史について、歴史性、国際性をふまえたご講演をいただきます。パネルディスカッションでは「女子大学の魅力：歴史と現在」と題して、リベラルアーツ教育の意義、女子大学ならではの学びと教育環境など、多面的な魅力を再発見、世代を超えて語り合いましょう。

↓お申込はこちらから↓



主催 宮城学院女子大学 後援 宮城学院同窓会
企画 宮城学院女子大学ジェンダー教育研究センター設立準備委員会
問い合わせ 藤田 (Tel 0222776143) e-mail fujita@mgu.ac.jp

プログラム

開場 13:10～ 開会 13:30

総合司会 栗原 健 一般教育部准教授 大学宗教センター長

☆オープニング演奏 本学学芸学部音楽科 学生有志

【ピアノ独奏】

【メゾソプラノ独唱】

J.S.バッハ

A.H.マロッテ

主よ、人の望みの喜びよ

主の祈り

メゾソプラノ 濱田 真由（音楽科4年）

ピアノ 菊森 愛（音楽科4年）

開催にあたって 「キリスト教主義女子大学の建学の精神」

宮城学院女子大学 学長 長谷部 弘

基調講演

「キリスト教主義の女子教育史：

なぜ女子ミッション・スクールは名門女学校になったのか？」

佐々木啓子

国立大学法人 電気通信大学 名誉教授（女子高等教育史）

討論者 小羽田誠治 一般教育部 教授（東アジア近代史）

〈休憩〉 参加者の質問受付

パネルディスカッション 「女子大学の魅力－歴史と現在」

パネリスト

佐々木啓子さん

遠藤琴里さん（2020年度学芸学部日本文学科卒・宮城県角田市出身）

小羽田誠治

コーディネーター

天童睦子（本学名誉教授：ジェンダー論，教育社会学）

閉会挨拶



佐々木啓子 国立大学法人電気通信大学 名誉教授 津田塾大学卒，子育て期に大学院に進む。東京大学教育学研究科にて教育社会学を基礎学問として、歴史社会学を専攻。特に戦前期の女子高等教育史を探究。博士（教育学）。代表作に『戦前期女子高等教育の量的拡大過程－政府・学校・生徒のダイナミクス』（2002 東京大学出版会）など。女子高等教育における学校文化、教養教育、家庭の文化資本に詳しい。近年、女子の海外留学や、女子ミッション・スクールの歴史的展開の研究を推進している。